

大地震、迅速にトリアージ



トリアージの訓練に取り組む医師や看護師ら
Ⅱ 笠松町田代、松波総合病院

松波総合病院で災害訓練

笠松町田代の松波総合病院は、大規模地震で大量のけが人が発生したという想定
の災害対策訓練を同病院
で行い、医師や看護師、ス
タッフら90人がトリアージ
の連携や紙カルテの使い方
を確認した。

震度7の南海トラフ地震が発生し、多くの傷病者が搬送されるという想定。病院の防災センターにホワイ
トボードを設置するなどして災害対策本部を設置。ロ
ビーやエントランス、救急
部門付近に設けたテントで
症状の重さ別に医師らがト
リアージを行った。電子カ
ルテが使えなくなることを
想定し、紙カルテに患者の
症状を書き込んでいた。

救急科部長の八十川雄図
医師は「県境に位置してお
り、災害発生時は相当数の
患者が見込まれる。キャパ
シティに絶えうるように
していきたい。繰り返し訓
練を行い、対策マニュアル
を周知していく」と語った。

(三輪真大)